

質疑者 北山 順一 議員

質 疑 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 日本一子育てしやすいまちについて</p> <p>かねてより我が会派は、市政の最重要、最優先課題として、21世紀の神戸を担っていく子どもたちのために、子育て日本一のまち神戸を築くべきであると、強く強く申し上げてきた。</p> <p>今回の予算では、子育て応援に関して数多くの新規、拡充施策が盛り込まれており、高く評価をしているところである。しかしながら、子育て日本一宣言を実施して取り組むべきではないかと申し上げてきた経緯からも、これぞ日本一という子育て施策が何かを明確にさせていただきたい。その上に立ってこそ、他の様々な施策も評価され、神戸で子どもを産んで育てようという若い世代が出てくると思う。</p> <p>日本一の施策として市長が進めている大学との連携について、子育てに関する連携をもっと進めていくべきではないかと思う。大学と連携した取組は全国でもめずらしく、子育ての分野においても、大学との連携を強化することにより、全国で日本一になる可能性があるのではないだろうか。大学連携の子育て支援として、既に甲南女子大学、神戸大学、親和女子大学、松蔭女子大学などと連携していることは聞いているが、現在の取組では日本一と言うにはまだ不十分である。</p> <p>市内には20を超える大学があり、また、本市は外国語大学や看護大学を持っていることから、例えば、全ての大学と子育て支援で連携するなど、より大規模な取組を行う</p>	<p>(矢田市長)</p> <p>本市での子育て事業における最近の1つの取組として、在宅育児家庭の支援を進めている。その中で、保護者、乳幼児が気軽につどえる場を提供する「つどいの広場」事業を進めているが、これまで保育所や児童館、幼稚園などの既存施設を活用してきた。</p> <p>この「広場」事業の一環として、平成19年度から、市内の大学と連携して、大学のキャンパスを子育て支援の場として提供いただいている。</p> <p>4大学で実施していただいている大学と連携した子育て支援の中で、利用される方からの声として、大学には、幼児教育に詳しい教授や専任の保育士がいるため、大学を訪れる親子にとって、子どもを遊ばせるスペースがあるというだけでなく、子育てに関する相談など、様々な悩みを相談できるということで、大変喜ばれている。</p> <p>大学の方からも、専門家である先生方にとっては、実際に親子と接することでスキルを高めることができる、また、保護者から様々な意見を聞ける。さらに、学生にとっては、生きた実践体験を積めるということで、意義深い事業という声を聞いている。</p> <p>保育所整備については、現在、神戸市内の大学で、例えば、頌栄女子短期大学では頌栄保育園、親和大学では親和保育園と千鳥が丘親和保育園、甲南女子大学では4月にオープンする甲南保育園、それぞれ社会福祉法人を設立し、運営を行っていただいている。</p> <p>また、県内の大学で立ち上げられた、神戸大学の学長が理事長である「大学コンソーシアムひょうご神戸」の中の地域交流委員会では、子育て支援をテーマに事業に取り組み、「キッズ・オ</p>

質疑者 北山 順一 議員

質 疑 要 旨	答 弁 要 旨
<p>べきではないだろうか。また、単に子育ての相談や親子教室にとどまらず、保育所を大学構内に作るにより、用地の確保などの悩みも解消することになる。</p> <p>大学に通う学生も、子どもたちと接することで将来の子育てに不安感がなくなり、子どもを産み育てる啓発も可能と考える。</p> <p>さらに、過去14回実施している市長と大学の学長との懇談会において、子育てにテーマを絞ったものは実施されていない。今後は、子育て支援をテーマにした懇談会についても回を重ねていくべきではないだろうか。</p> <p>今後の子育てや保育所待機児童の解消も視野において、子育てに関する大学との連携をどのように進めていくのか。また、市長自らが学長との懇談会などで「子育て支援」をテーマに話し合い、どのように働きかけていくのか。市長の見解を伺いたい。</p>	<p>「オープンキャンパス」を実施するなど、大学における子育て支援は広がりを見せている。</p> <p>今後も、在宅育児家庭支援の一環として、大学のキャンパスを地域の広場として開放する事業の拡大を図り、そして、待機児童の解消策の一環として、大学と連携した保育所の整備を働きかけていきたいと考えている。</p> <p>学長との懇談会は、これまで14回、それぞれのテーマで開催してきたが、子育て支援については、次期基本計画を策定する上で大変重要な課題と認識しており、平成21年度での学長との懇談会において、テーマとして議論しながら、ご意見をいただきたいと考えている。</p>